

経済学部33チーム
約170名の熱戦

先鋒

立論人

「伝える」

プロフェッショナル。
自分の主張を分かりやす
く簡潔に伝える。
ここで強固な主張がで
きるかどうかで試合が
大きく左右される。伝え
る技術で右に出るもの
なし。

次鋒

応答人

「理解」

プロフェッショナル。
自分たちの主張を誰よ
りも理解し、どんな質問
にも的確に端的に答え
ていく。
冷静沈着に、だが着実に
守りの陣を整える、まさ
に守護神。

中堅

質問人

「叩く」

プロフェッショナル。
相手の立論の不明確な
点を言及する。
お互いの不理解を排除
し、正々堂々とした勝負
にする。敵を知り、己を
知れば百戦危うからず。
分かりやすい議論は、
彼の腕にかかっている。

副将

反論人

「思考」

プロフェッショナル。
根拠は正しいか、論理
は一貫しているかを、
鋭い思考で相手の矛盾
を一挙に叩く。
データと論理力を武器に
一気に攻め入る。正しい
議論を生み出す豪傑。

大将

総括人

「交渉」

プロフェッショナル。
互いの議論を、整理・比較
し、どちらが優れている
かを主張する。
複雑に絡み合った論理
を美しくまとめ上げ、時
には起死回生すら起こ
す天才仕事人。

実は、 チーム戦。

全5役

5人で通す1つの主張

同志社大学経済学部・経済学会主催

ディベート大会2016

観戦のご案内

開催日 2016年 12月17日(土) 10時~決勝トーナメント(本選)開始
15時~決勝戦開始

場 所: 今出川キャンパス 良心館107番教室
論 題: 「日本は外国人労働者の受け入れを拡大すべきである。是か非か。」
出場者: 経済学部生

【事前申込不要・入場無料】
※当日は直接会場にお越しください。